

JIS

加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－応力－ ひずみ特性の求め方

JIS K 6254 : 2016

(JRMA/JSA)

平成 28 年 8 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 化学・環境技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	田 中 龍 彦	東京理科大学
(委員)	今 井 勇	一般社団法人日本ゴム工業会
	大 石 奈津子	一般財団法人日本消費者協会
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタン ト・相談員協会
	大 野 香 代	一般社団法人産業環境管理協会
	小 川 修	一般社団法人日本塗料工業会
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	倉 品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会
	小 森 亨 一	一般社団法人日本分析機器工業会
	齊 藤 良	日本プラスチック工業連盟
	四角目 和 広	一般財団法人化学物質評価研究機構
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	田 和 健 次	石油連盟
	中 島 眞 理	株式会社ブリヂストン
	中 村 優	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	野 中 玲 子	一般社団法人日本化学工業協会
	保 倉 明 子	東京電機大学
	松 永 直 樹	拓殖大学
	森 川 淳 子	東京工業大学
	山 崎 初 美	主婦連合会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 5.2.1 改正：平成 28.8.22

官 報 公 示：平成 28.8.22

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：化学・環境技術専門委員会 (委員長 田中 龍彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験の種類	2
5 圧縮試験	2
5.1 圧縮試験の方法	2
5.2 試験装置及び材料	3
5.3 試験装置の校正	4
5.4 試験片	4
5.5 試験片の数	4
5.6 加硫から試験までの時間	4
5.7 状態調節	4
5.8 試験温度	5
5.9 試験方法	5
5.10 試験結果のまとめ方	5
5.11 試験報告書	7
5.12 A 法及び D 法の試験精度	8
6 引張試験	8
6.1 試験装置	8
6.2 試験装置の校正	8
6.3 試験片	8
6.4 試験片の数	9
6.5 加硫から試験までの時間	9
6.6 状態調節	9
6.7 試験温度	9
6.8 試験方法	9
6.9 試験結果のまとめ方	10
6.10 試験報告書	10
附属書 A (参考) 試験片形状の影響について	11
附属書 B (参考) 標準試験片と異なる形状及び標準試験条件と異なる試験条件による 試験結果の推定について	14
附属書 C (規定) 試験装置の校正	17
附属書 D (参考) A 法及び D 法の試験精度	19
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	22

	ページ
解 説	24

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ゴム工業会（JRMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 6254:2010** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—応力— ひずみ特性の求め方

Rubber, vulcanized or thermoplastic— Determination of stress-strain properties

序文

この規格は、2011年に第4版として発行されたISO 7743を基とし、ISO規格には規定していない引張変形の規定を追加し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの圧縮力又は引張力を、規定した形状の試験片、製品又は製品の一部を用いて測定することによって、応力—ひずみ特性を求める方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 7743:2011, Rubber, vulcanized or thermoplastic—Determination of compression stress-strain properties (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

警告 この規格の利用者は、通常の実験室での作業に精通していることを前提とする。この規格は、その使用に関して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置を取らなければならない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 6200 ゴム—用語

JIS K 6250 ゴム—物理試験方法通則

注記 対応国際規格：ISO 23529, Rubber—General procedures for preparing and conditioning test pieces for physical test methods (MOD)

JIS K 6272 ゴム—引張、曲げ及び圧縮試験機（定速）—仕様

JIS Z 8401 数値の丸め方

ISO 18899:2004, Rubber—Guide to the calibration of test equipment